

孫と行く西国三十三霊場巡りマラニック

三室戸寺 興福寺 長谷寺 法起院 壺阪寺

二十年八月十二日

フル百回楽走会
593
武藤 翔峰

8月10-11日中三の孫息子と一緒に、西国三十三観音霊場巡りで奈良のお寺を巡ってきました。
最初は蓮の花がきれいに咲いている10番三室戸寺に参り、次に五重塔で有名な9番興福寺を参拝しました。
この後、付録編として孫の希望で蘇我馬子によって開かれた世界遺産元興寺、奈良の大仏で有名な東大寺に行きました。
東大寺ではさらに2月堂、3月堂、戒壇院なども巡り古都奈良を満喫、本日は奈良に宿泊しました。
翌日は長い回廊と美しい花が印象的な8番長谷寺とすぐ近くの番外法起院に参拝、その後6番壺阪寺に行きました。
壺阪寺は浄瑠璃「壺坂霊験記」の眼病の効験で知られるお寺で、「三つ違いの兄さんと……」のお里・沢市の像が建っており、今でも眼病平癒の祈願のため訪れる人も多くいます。
この後、岡寺に参拝する予定でしたが、時間切れで諦め帰途につきました。
孫は歴史が好きなせいか、奈良の古寺の歴史など詳しく、色々教えられました。



西国十番 明星山三室戸寺



西国九番 興福寺南円堂



西国八番 豊山長谷寺



西国六番 壺阪山南法華寺

白衣は自作です

西国三十三霊場巡りマラニック 第十番 明星山 三室戸寺

フル百回楽走会

593

武藤 翔峰

二十年八月十三日

まず最初に宇治・花の寺として有名な10番明星山、三室戸寺を訪れた。宗派は本山修験宗（別格本山）、本尊は千手観世音菩薩、開基は大安寺行表法師である。光仁天皇が行幸の際、靈感を感じたので藤原犬養に命じ周辺を探させたところ、宇治川の支流である志津川上流の岩淵で黄金の仏像を発見したと伝えられている。この仏像を安置するため、宝亀元年(770年)に御室の一部を移し、奈良大安寺の行表法師を招き、御室戸寺としたのが寺の起源とされているが、智証大師円珍の開山という説もあるという。

御室戸寺は後に三室戸寺に改称された。創建時は仏像が発見された場所の近くの山中に寺があったとされているが、度重なる火災に遭い、15世紀に現在の場所に移されたという。

訪れたときは、丁度本堂前の『蓮(ハス)園』には、200鉢の色とりどりの蓮(はず)が咲き、有名な大賀ハス、古代ハスなど100種も咲き、さながらその光景は極楽浄土のようで、『蓮(ハス)の寺』とも言われている。

ここを参拝した後、奈良に行くためJR宇治駅目指した。



